

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成24年11月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年11月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 162社 回答 152社 回答率 93.8%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	9社 6.0% (23.2)	21社 14.1% (31.1)	62社 41.6% (29.8)	38社 25.5% (9.3)	19社 12.8% (6.6)	149社	17社 11.6% (13.0)	15社 10.3% (17.8)	48社 32.9% (32.9)	41社 28.1% (17.1)	25社 17.1% (19.2)	146社
売上高	10社 6.7% (23.7)	23社 15.3% (29.6)	64社 42.7% (29.6)	35社 23.3% (11.2)	18社 12.0% (5.9)	150社	9社 6.1% (8.2)	11社 7.5% (14.3)	48社 32.7% (33.3)	43社 29.3% (20.4)	36社 24.5% (23.8)	147社
在庫数量	2社 1.4% (3.4)	14社 9.7% (13.6)	83社 57.2% (53.1)	39社 26.9% (23.8)	7社 4.8% (6.1)	145社	11社 7.7% (7.0)	17社 12.0% (17.6)	54社 38.0% (38.0)	42社 29.6% (19.7)	18社 12.7% (17.6)	142社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	6社 4.1% (1.4)	97社 66.4% (61.5)	40社 27.4% (33.8)	2社 1.4% (2.7)	146社	1社 0.7% (1.4)	4社 2.8% (1.4)	42社 29.6% (31.7)	58社 40.8% (39.4)	37社 26.1% (26.1)	142社
収益状況 (粗利)	3社 2.1% (14.7)	16社 11.0% (24.0)	72社 49.3% (40.7)	38社 26.0% (14.7)	17社 11.6% (6.0)	146社	7社 4.9% (8.3)	16社 11.2% (10.4)	47社 32.9% (34.7)	43社 30.1% (28.5)	30社 21.0% (18.1)	143社
稼働率 (生産・加工設備)	3社 2.5% (10.7)	16社 13.1% (32.8)	56社 45.9% (41.0)	36社 29.5% (9.8)	11社 9.0% (5.7)	122社	7社 5.8% (7.7)	11社 9.2% (18.8)	50社 41.7% (37.6)	31社 25.8% (22.2)	21社 17.5% (13.7)	120社
入出庫の トラック台数	3社 2.1% (9.7)	15社 10.5% (24.8)	81社 56.6% (49.7)	34社 23.8% (11.7)	10社 7.0% (4.1)	143社	6社 4.4% (7.8)	15社 11.0% (12.1)	62社 45.6% (44.7)	37社 27.2% (22.7)	16社 11.8% (12.8)	136社
	現在の景況感					138社	3ヶ月後の景況予測					135社
	2社 1.4% (1.4)	8社 5.8% (9.4)	52社 37.7% (32.6)	41社 29.7% (34.8)	35社 25.4% (21.7)		1社 0.7% (0.0)	19社 14.1% (9.6)	83社 61.5% (57.0)	26社 19.3% (24.4)	6社 4.4% (8.9)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(11月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 需要家(建材系)の動きは堅調で、中には年度内いっぱい仕事があるとの声もあるが、各物件の受注価格は安く、仕入先への値下げ依頼も多々ある。(相場が上がらない)販価は出来る限り維持していきたいが、状況によっては対応せざるを得ない。年末、年度末でセール価格が出回ることを考えると、価格が安定(上向き)するのはまだまだ先になりそうだ。
- ② 内需減退の深刻さは継続している。外需動向も好転の兆しに乏しく、金融バブル崩壊後の現状が当面の内需実態と認識すべきかもしれない。全産業で需給バランス調整のための淘汰過中との情勢認識が強まりつつある。
- ③ 市況は採算的に限界に来ていることもあり、底値圏内で推移。荷動きも低位横這いで変化なし。今後についても市況、荷動きともに早急な回復は期待できず、しばらくこの弱基調が続く。現況を常態と認識することが大事。
- ④ 引合いなし。市況、購買、依然低迷。
- ⑤ 10、11月と稼働日数も多く、受注も好調であったが、12月、1月は日数も少なく、現状、先が見えない。
- ⑥ 前月比1日減の稼働日数となり、売上、数量ともに減となった。景況感が変わらず、荷動きは低調。総選挙後の補正予算の執行も予想され、円安基調が持続すれば年明けから好転の期待も持てるかと思われる。住宅は底堅そう、新築、リフォームともに消費増税を控え、来年は増加しそうだ。ネットショッピング向けと思われる大型ロジスティック施設の新設も出て来ており、公共インフラの補修工事も急遽実施予定で、建築向けは増加傾向となりそうだ。いずれにせよ、現状は内需、外需ともに底這い状態に変わりは無く、少ない需要を取りこぼしの無いように、引っ掛かりの無いようにしていきたい。

中板

- ① 需要環境は、一部で建築関連の動きが見られるが、その他は総じて低調で推移。価格も売上確保のため安値売込みが散見され、弱含み基調であり、当面は厳しい状況が続く。

厚板

- ① 成約している鉄骨、橋梁の物件が生産に見込まれるのは、1月以降であり、年内いっぱい端境期となり、低水準の稼働となる見通しである。市中では、店売りに結び付く建材関連の実需が乏しく、数量、価格ともに極めて低レベルで推移しており、回復の兆しが見えない状況である。

一般開張鋼

- ① 建築現場の動きが出て来ているが、町場物件より倉庫物件が多い。関東地方は職人不足になっている。単価が上がらない。
- ② 前月より2営業日数減にもかかわらず、諸指標は横這いということは、市況はさておいて、荷動きは堅調ということである。もしかしたら、現況は、年度末の3月まで続いてくれるのかとの仄かな期待さえ妄想させる。

HI形鋼

- ① 11月の倉出し量は、今年一番多い数量だった。しかし、9月値上げ分が入荷し、簿価が上がっているが、販売価格はまだそれに至っていない。11月積み価格も値上げで、年明けには市況アップを目指したい。
- ② 市況に大きな変化はないが、環境に変化が無ければベクトルは下向きになるであろう。これを変えるための策は、自明の理であるがなかなか実行できない。目先のことにとらわれ過ぎて、先の展望が見えていない。

異形棒鋼

- ① メ需要は低位ではあるが、年末なりに動いている。ユーザーは当用買いに徹している。メーカーは電力問題もあり、下値を切り上げてきている。
- ② 小口需要が増加。格好も忙しく、全体的に販売数量が伸びた。市況は、メーカー姿勢を反映して底入れしたが、上昇には至っていない。

平鋼

- ① 建築関連に一服感があるものの荷動きは若干減少程度にとどまっている。スクラップ価格が上がるも市況に変化なく、逆に弱含み傾向。復興関連の仕事もほとんど聞こえておらず、来年以降か。

鋼管

- ① 11月は10月ほどではないが、良い結果であった。12月は、まだ序盤であるが好調を継続。

構造用鋼

- ① 自動車、建機、工作機械等、全てに明るい展望が見えない。この状態がしばらく続く、悪化して来そうだ。
- ② 相変わらず店売りは活発なところがなく、低調が続いている。円高が長期化する中、自動車を始めとした大手ユーザーの海外生産へのシフトが濃く合いの動きに深刻さを深めている。
- ③ 需要環境は、自動車関連向けの減速に加え、建設機械や産業機械関連が、依然として中国向けなど輸出を中心に低迷が続いている。製造業の生産拠点の海外移転が進む中、現調化の流れも強まっている。店売りについては、需要低迷が続いている中、荷動きは低調な動きとなっている。市況については、11月に入り更に一段下落した状況となっており、今後更に弱含みで推移すると思われる。

その他

<曲げ加工>

- ① 景況は、少し良くなったり、悪くなったりの繰り返し状態。先月よりはやや下落気味。曲げの相場傾向は今ひとつ好転に向わず、今後も良くもなく、悪くもないといった状況か。一般の情報から来年度に掛けていくらか好転に向うとの由、期待したいものである。

<金属表面処理加工>

- ① 11月は物件物、紐付きとも計画通りとなる。スポットも中旬以降まとまった数量が多く、高操業となる。年内は、短納期のスポット案件が多く、年末まで多忙。来年以降の引合いも活発なことから、年明け以降も高操業での推移を予想。

<スクラップ>

- ① 9月以降、下がっていた相場も11月に入り、2ヶ月ぶりに戻り、湾岸には輸出船が多く入って来て船積みが行われた